

枚方市
保育所(園)・幼稚園・認定こども園・
小規模保育施設における食育の取り組み状況
アンケート結果報告書(案)

令和5年6月

枚 方 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 実施要領	1
3. 報告書の見方	1
第2章 調査結果	2
(1) 食育に関する計画作成の有無	2
(2) 令和3年度の食育の取り組みについて	3
(3) 保護者を対象にした食育の取り組み	8
(4) 在宅の親子を対象にした食育の取り組みについて	11
(5) 令和4年度の食育の取り組み	14
(6) 食育の取り組みに関する課題	17

第1章 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、平成30年3月に策定した第3次枚方市食育推進計画策定の最終評価に係る基礎資料とするため実施したものです。

2. 実施要領

調査対象	配布数	回収率	調査期間	調査方法
枚方市内の 保育所（園）・ 幼稚園・ 認定こども園・ 小規模保育施設	96施設 ●保育所（園） （55施設） ●幼稚園 （15施設） ●認定こども園 （11施設） ●小規模保育施設 （15施設）	95.8% ●保育所（園） （96.3%） ●幼稚園 （100.0%） ●認定こども園 （90.9%） ●小規模保育施設 （93.3%）	令和4年 12月2日 ～ 令和5年 2月20日	インターネット 及び郵送

3. 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・また、図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略する場合があります。

第2章 調査結果

(1) 食育に関する計画作成の有無

問1	貴施設では、食育に関する計画作成されていますか。あてはまる番号に○をつけてください。
----	--

【全体】

食育に関する計画作成の有無については、「作成している」が92.4%で最も高く、次いで「検討中」が5.4%、「作成していない」が2.2%となっています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「作成している」が98.1%で最も高く、次いで「検討中」が1.9%となっています。

【幼稚園】

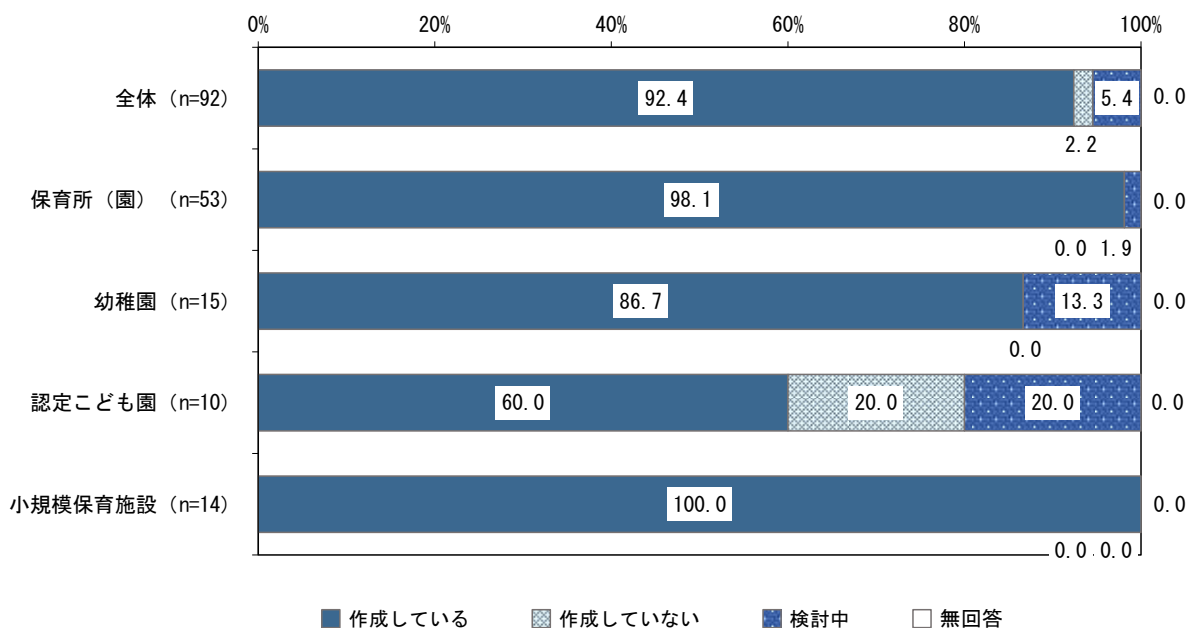
幼稚園では、「作成している」が86.7%で最も高く、次いで「検討中」が13.3%となっています。

【認定こども園】

認定こども園では、「作成している」が60.0%で最も高く、次いで「作成していない」、「検討中」が20.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「作成している」が100.0%となっています。



(2) 令和3年度の食育の取り組みについて

問 2

施設利用児を対象に食育の取り組みを実施されましたか？

<① 食育の取り組み実施の有無>

【全体】

食育の取り組み実施の有無については、「実施した」が97.8%、「実施していない」が2.2%となっています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「実施した」が98.1%、「実施していない」が1.9%となっています。

【幼稚園】

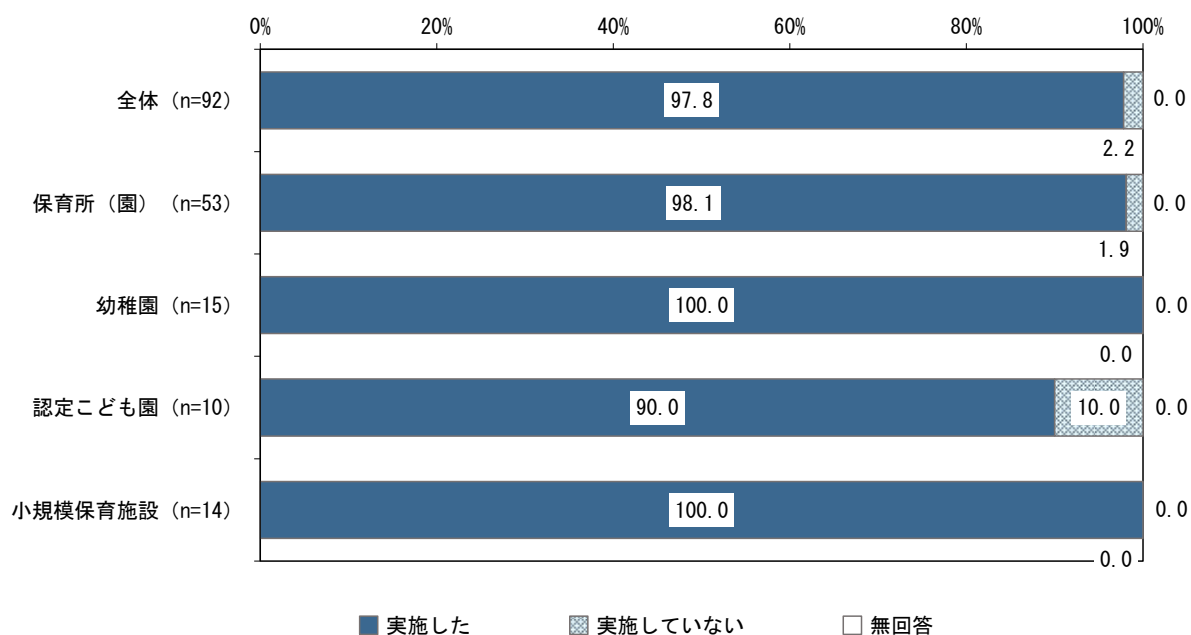
幼稚園では、「実施した」が100.0%となっています。

【認定こども園】

認定こども園では、「実施した」が90.0%、「実施していない」が10.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「実施した」が100.0%となっています。



<② 実施した取り組み内容>

【全体】

実施した取り組み内容については、「行事食」が67.8%で最も高く、次いで「食事マナー」が63.3%、「三色栄養バランス」が60.0%と続いています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「行事食」が75.0%で最も高く、次いで「三色栄養バランス」が71.2%、「食事マナー」が63.5%と続いています。

【幼稚園】

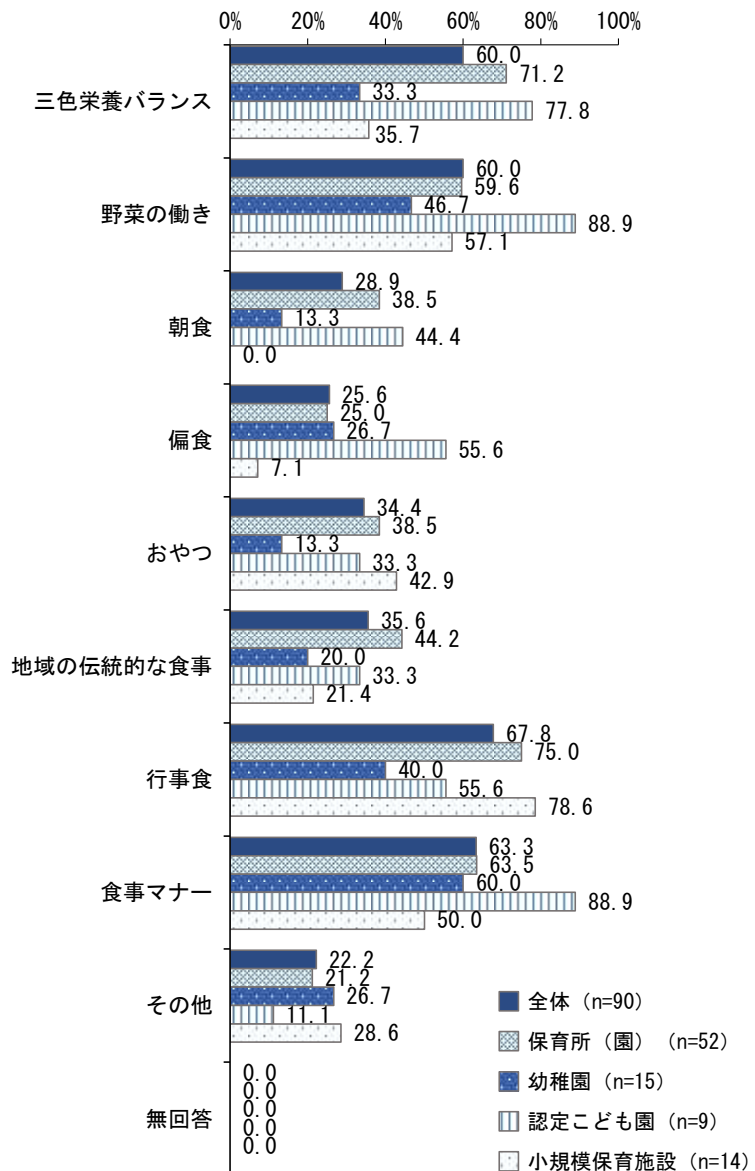
幼稚園では、「食事マナー」が60.0%で最も高く、次いで「野菜の働き」が46.7%、「行事食」が40.0%と続いています。

【認定こども園】

認定こども園では、「食事マナー」、「野菜の働き」が88.9%で最も高く、次いで「三色栄養バランス」が77.8%、「行事食」、「偏食」が55.6%と続いています。

【小規模保育施設】

規模保育施設では、「行事食」が78.6%で最も高く、次いで「野菜の働き」が57.1%、「食事マナー」が50.0%と続いています。



＜その他の内容＞

【保育所（園）】

- ・クッキング（3件）
- ・菜園活動、畑づくり（3件）
- ・給食メニューの写真掲示
- ・魚の骨とり指導
- ・お手伝い活動
- ・食育レンジャー
- ・季節の野菜、果物 加工品（例えばお米でできているものを集める）乾物等をテーマを決めて見て触って匂って等の取り組みをしている。
- ・ゴミ等の環境学習
- ・保健指導等
- ・野菜の育ち方
- ・身体の働き
- ・お箸指導

【幼稚園】

- ・食物の栽培・収穫（4件）
- ・クッキング（3件）

【認定こども園】

- ・オリジナル食育ソングを歌う

【小規模保育施設】

- ・クッキング（4件）
- ・菜園活動、畑づくり（3件）
- ・歯磨き指導
- ・食材の話
- ・お買い物ごっこ
- ・食材を知る

<③ 実施方法>

【全体】

実施方法については、「飼育・栽培体験」が81.1%で最も高く、次いで「お話」が78.9%、「調理体験」66.7%と続いています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「飼育・栽培体験」、「お話」が80.8%で最も高く、次いで「調理体験」、「絵本や紙芝居」が65.4%、「一緒に食事」が28.8%と続いています。

【幼稚園】

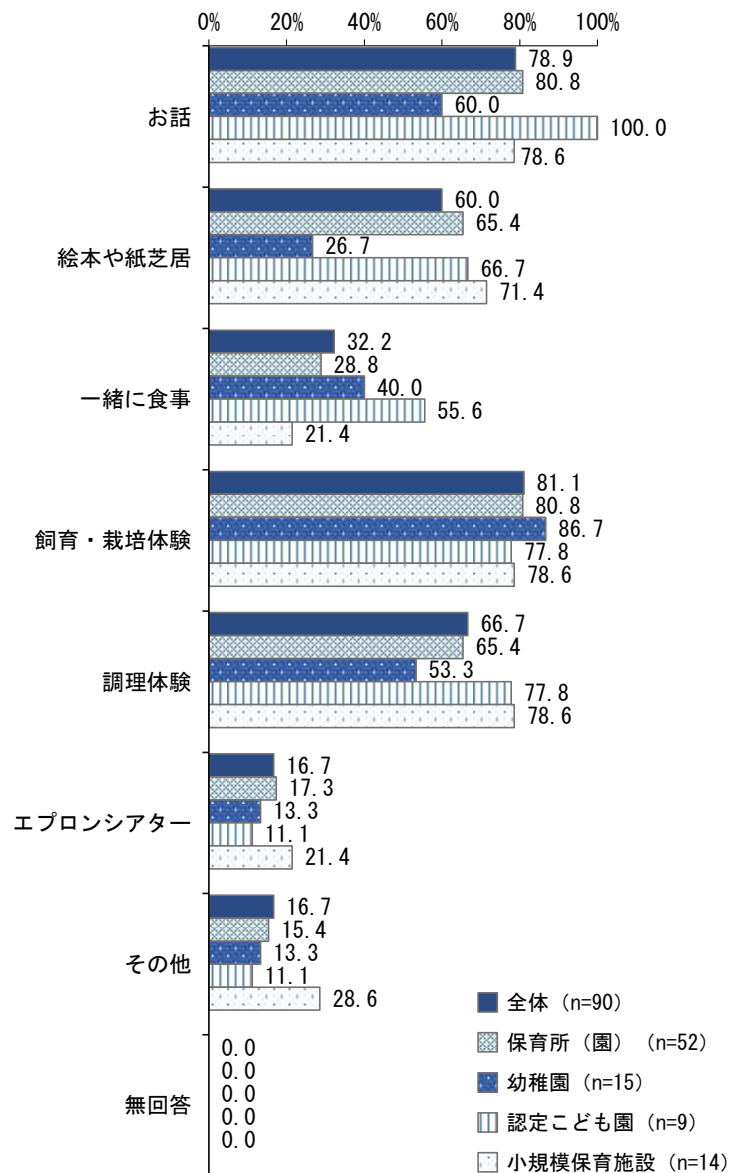
幼稚園では、「飼育・栽培体験」が86.7%で最も高く、次いで「お話」が60.0%、「調理体験」が53.3%と続いています。

【認定こども園】

認定こども園では、「お話」が100.0%で最も高く、次いで「飼育・栽培体験」、「調理体験」が77.8%、「絵本や紙芝居」が66.7%と続いています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「飼育・栽培体験」、「お話」、「調理体験」が78.6%で最も高く、「絵本や紙芝居」が71.4%、「その他」が28.6%と続いています。



<その他の内容>

【保育所（園）】

- ・パネルシアター（3件）
- ・寸劇（2件）
- ・夏野菜、冬野菜等を栽培、収穫してクッキングしたり、給食に取り入れて食べる。
- ・近隣スーパーへの買い物
- ・毎月園だよりに食育だよりを載せている

【幼稚園】

- ・動画
- ・収穫体験

【認定こども園】

- ・お米を育てる

【小規模保育施設】

- ・給食試食会
- ・カード遊び
- ・食事場面で食べ具合を見守りながら、「おいしいね」「もぐもぐ噛めてるね」などお話をしている。
- ・パネルシアター
- ・具材の写真を撮りパネルにして貼り子ども達と一緒に考える取り組み

(3) 保護者を対象にした食育の取り組み

問3

保護者を対象に食育の取り組みを実施されましたか？

<① 保護者を対象にした食育の取り組み実施の有無>

【全体】

食育の取り組み実施の有無については、「実施した」が66.3%、「実施していない」が33.7%となっています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「実施した」が73.6%、「実施していない」が26.4%となっています。

【幼稚園】

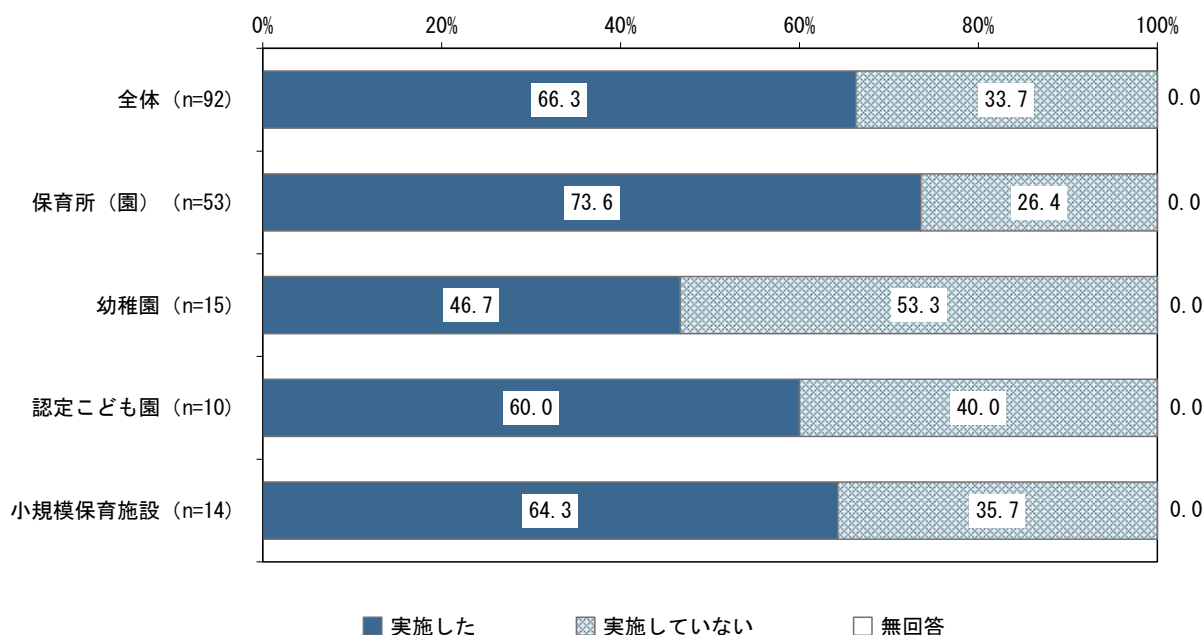
幼稚園では、「実施した」が46.7%、「実施していない」が53.3%となっています。

【認定こども園】

認定こども園では、「実施した」が60.0%、「実施していない」が40.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「実施した」が64.3%、「実施していない」が35.7%となっています。



<② 実施した取り組み>

【全体】

実施した取り組みについては、「お便り等での情報提供」が91.8%で最も高く、次いで「給食内容や献立の展示」が86.9%、「お弁当や給食の保護者参観」が32.8%と続いています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「お便り等での情報提供」、「給食内容や献立の展示」が92.3%で最も高く、次いで「お弁当や給食の保護者参観」が35.9%、「給食の試食会」が17.9%と続いています。

【幼稚園】

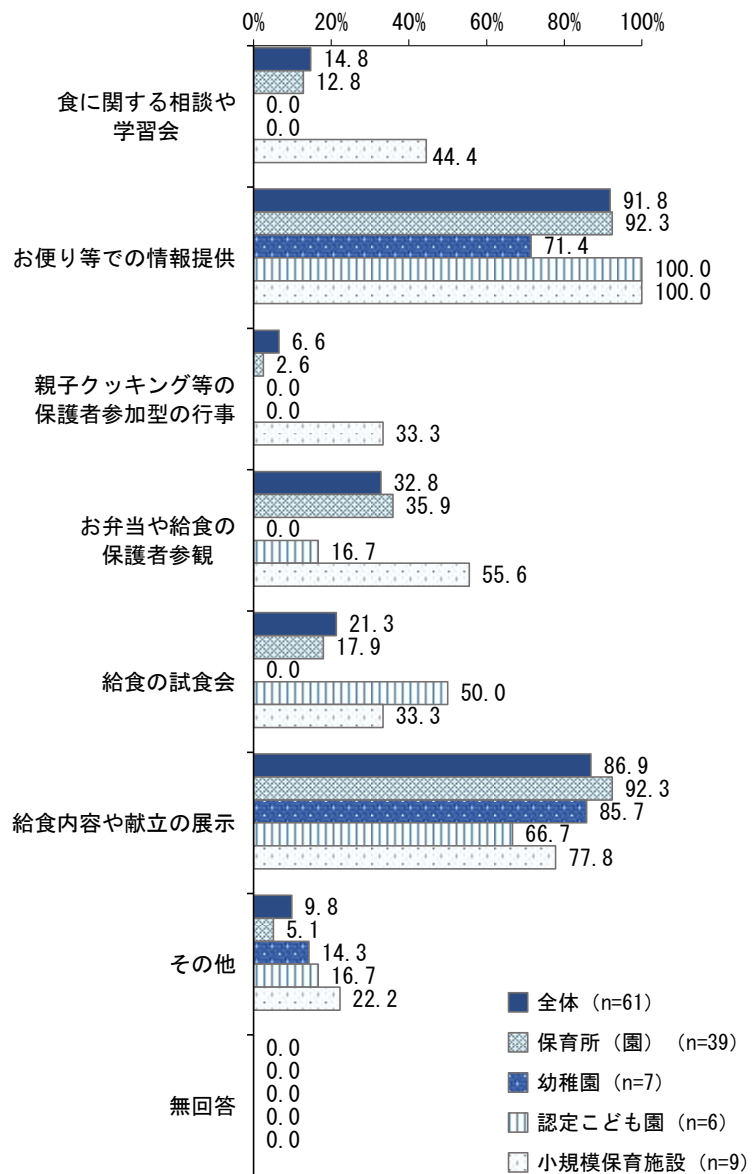
幼稚園では、「給食内容や献立の展示」が85.7%で最も高く、次いで「お便り等での情報提供」が71.4%、「その他」が14.3%と続いています。

【認定こども園】

認定こども園では、「お便り等での情報提供」が100.0%で最も高く、次いで「給食内容や献立の展示」が66.7%、「給食の試食会」が50.0%と続いています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「お便り等での情報提供」が100.0%で最も高く、次いで「給食内容や献立の展示」が77.8%、「お弁当や給食の保護者参観」が55.6%と続いています。



<その他の内容>

【保育所（園）】

- ・活動を掲示
- ・かべ新聞の掲示

【幼稚園】

- ・ブラッシング指導時、幼児の食の与え方について指導を行ってもらう

【認定こども園】

- ・アレルギー食懇談会

【小規模保育施設】

- ・保健センター職員との連携
- ・パンフレット等の配布
- ・子どもの給食好評メニューの紹介とレシピ紹介

(4) 在宅の親子を対象にした食育の取り組みについて

問 4

在宅の親子を対象に食育の取り組みを実施されましたか？

<① 在宅の親子を対象にした食育の取り組み実施の有無>

【全体】

食育の取り組み実施の有無については、「実施した」が32.6%、「実施していない」が67.4%となっています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「実施した」が43.4%、「実施していない」が56.6%となっています。

【幼稚園】

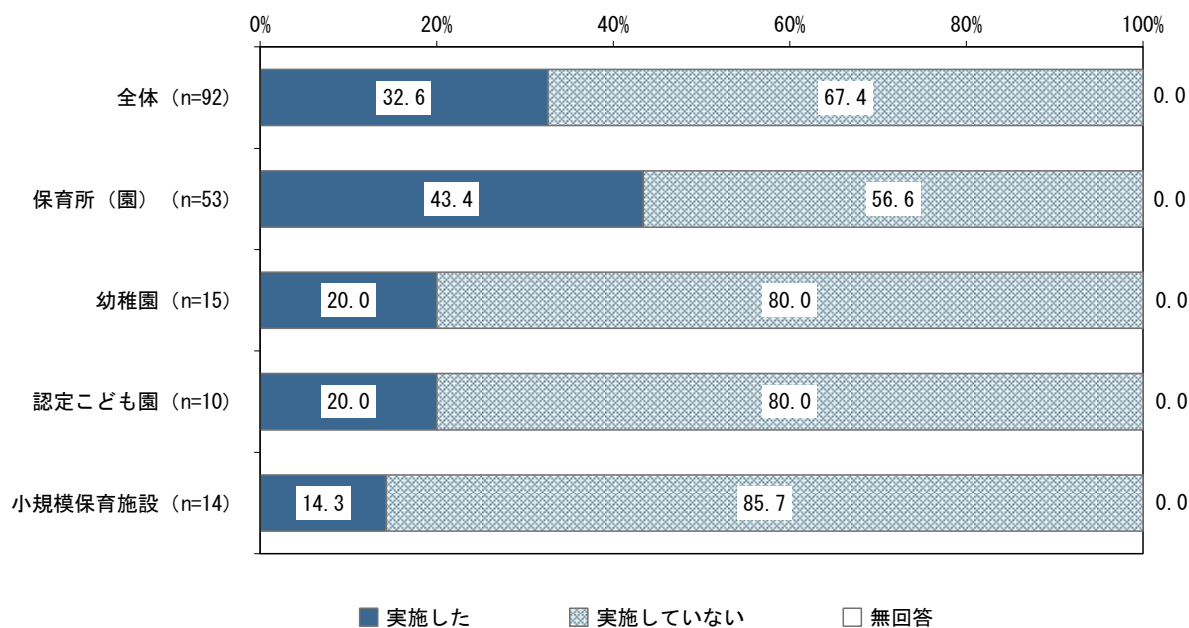
幼稚園では、「実施した」が20.0%、「実施していない」が80.0%となっています。

【認定こども園】

認定こども園では、「実施した」が20.0%、「実施していない」が80.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「実施した」が14.3%、「実施していない」が85.7%となっています。



<② 実施した取り組み>

【全体】

実施した取り組みについては、「育児相談等における食に関する相談や指導」が76.7%で最も高く、次いで「給食の試食会や展示」が50.0%、「その他」が13.3%と続いています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「育児相談等における食に関する相談や指導」が82.6%で最も高く、次いで「給食の試食会や展示」が56.5%、「その他」が17.4%と続いています。

【幼稚園】

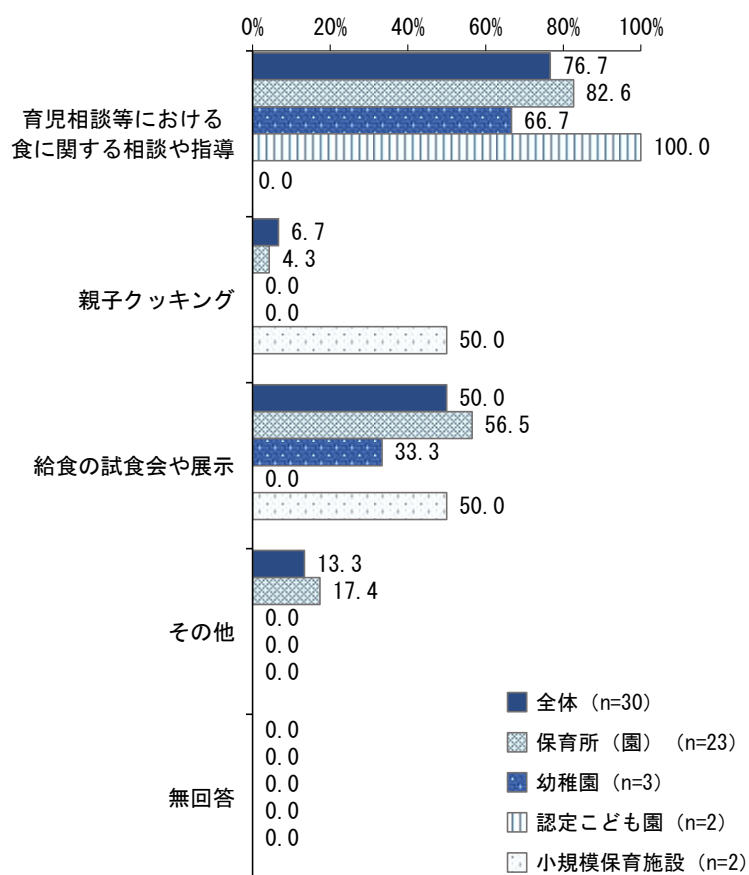
幼稚園では、「育児相談等における食に関する相談や指導」が66.7%で最も高く、次いで「給食の試食会や展示」が33.3%となっています。

【認定こども園】

認定こども園では、「育児相談等における食に関する相談や指導」が100.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「給食の試食会や展示」、「親子クッキング」が50.0%となっています。



＜その他の内容＞※一部抜粋

【保育所（園）】

- ・ 離乳食についての情報配信
- ・ よいこネットで配信
- ・ クッキング動画の配信
- ・ 親子で園で育てた黒豆の収穫体験をしてもらった

（５）令和４年度の食育の取り組み

問 5

今年度、食育の取り組みの予定はありますか

<① 令和４年度の食育の取り組み実施の有無>

【全体】

令和４年度の食育の取り組みの予定については、「予定している」が90.2%で最も高く、次いで「検討中（見通しがたっていない）」が7.6%、「予定していたができない」、「予定していない」が1.1%と続いています。

【保育所（園）】

保育所（園）では、「予定している」が94.3%で最も高く、次いで「検討中（見通しがたっていない）」が5.7%となっています。

【幼稚園】

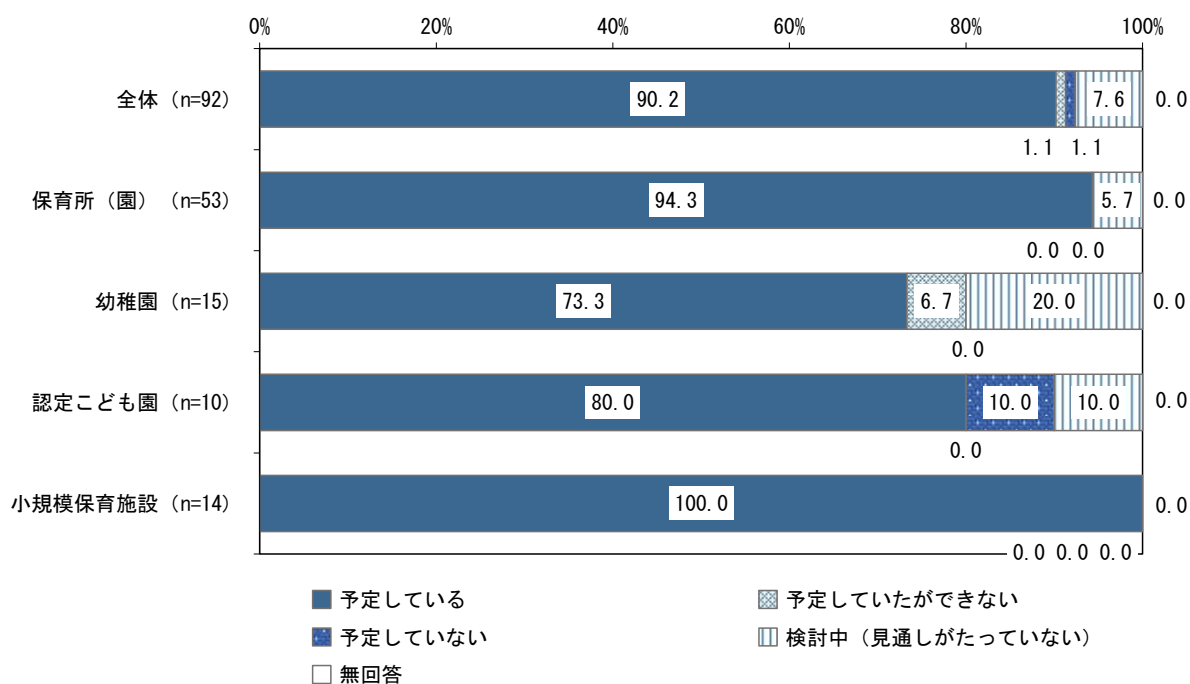
幼稚園では、「予定している」が73.3%で最も高く、次いで「検討中（見通しがたっていない）」が20.0%、「予定していたができない」が6.7%と続いています。

【認定こども園】

認定こども園では、「予定している」が80.0%で最も高く、次いで「予定していない」、「検討中（見通しがたっていない）」が10.0%となっています。

【小規模保育施設】

小規模保育施設では、「予定している」が100.0%となっています。



<② 予定している内容>※一部抜粋

【保育所（園）】

- クッキング、調理実習（43件）
 - ・カレークッキング、お味噌汁クッキング、調理体験、おやつ作りなど
- 指導・学習活動（27件）
 - ・骨とり指導、食材を見せたりして食べることへの興味に繋げる、マナー教室など
- 菜園活動（23件）
 - ・野菜の栽培、栽培体験など
- 収穫体験（13件）
 - ・ジャガイモ掘り体験、さつまいも掘り体験、野菜の収穫など
- 保護者向けの活動・情報提供（13件）
 - ・給食内容や献立の掲示、お便りでの情報提供、給食の保護者参観（乳児）など
- 行事体験、行事食（10件）
 - ・もちつき、焼き芋パーティー、クリスマスなど
- 遊び（クイズ等）を通しての学習（6件）
 - ・お買い物体験、3大栄養素の寸劇、触感や色々な果物の話やクイズなど

【幼稚園】

- 菜園活動（7件）
 - ・野菜の栽培、さつまいもの苗植え、じゃがいもの種芋を植えるなど
- 収穫体験（2件）
 - ・収穫したものをみんなで食べる、野菜の収穫
- 行事体験、行事食（3件）
 - ・もちつき、行事食の提供など
- クッキング、調理実習（4件）
 - ・野菜の調理、調理体験など
- 学習活動（2件）
 - ・偏食を無くす取組、食事マナー
- 保護者向けの活動・情報提供（2件）
 - ・食育の取組を含めた園生活の様子を掲示板にて保護者に伝える、食育講演会
- 他活動
 - ・友だちや先生と一緒に食事をする楽しさを感じるなど

【認定こども園】

- クッキング、調理実習（4件）
 - ・おにぎり作り、ホットドッグ作りなど
- 菜園活動（3件）
 - ・野菜栽培、新しく作った畑での野菜作りなど
- 他活動
 - ・毎月、行っている誕生日会で給食のピカピカ賞、がんばり賞を渡すなど

【小規模保育施設】

- クッキング、調理実習（10件）
 - ・調理体験、デザート作り、調理しておやつに食べる食育活動など
- 菜園活動（9件）
 - ・栽培体験、じゃが芋、キュウリ、さつま芋、大根の植えつけなど
- 保護者向けの活動・情報提供（6件）
 - ・おたよりでの情報提供、献立内容の展示、家庭で親子でできる簡単レシピの紹介など
- 学習活動（4件）
 - ・食事のマナーについてのお話、絵本等の読み聞かせで興味をもたせるなど
- 行事体験、行事食（3件）
 - ・地域の伝統的な食事、行事食など
- 収穫体験（2件）
 - ・野菜の収穫
- 他活動
 - ・食育計画の作成など

(6) 食育の取り組みについての課題

問6	貴施設において、食育に関する取り組みを行うにあたり、困っていることや課題等がありましたら、ご記入ください。	自由記述
----	---	------

<記述内容>※一部抜粋

【保育所（園）】

●新型コロナウイルス感染症関連

- ・園児のクラスごとのクッキング活動について。コロナ感染症対策を取りながらどのタイミングで始めたらいいか。クッキングの時に、手袋を着用しての活動には課題がある。
- ・コロナウイルス感染拡大防止を行っているなかクッキングの実施の難しさ。現在は自分で食べる分のみのクッキング（おにぎり等）だが、全体で行うには工夫がいると感じている
- ・試食会等ができないので、保護者との共感の場が持ちにくい。特に離乳食などに関する相談が地域の保護者からもあるが、なかなか取り組みにくい。
- ・コロナ前は幼児クラスで野菜を育てて各クラスでクッキングをしていたが、保護者や職員の不安があり実施できていない。
- ・コロナ禍でのクッキング体験を行なうにあたり、体験させたいがどこまでさせるべきかについて悩んでいる。
- ・コロナ禍で、その前より色々なクッキングが積極的に出来ていないのは残念である。試食会は、感染予防のため、全く出来ていない。また、在宅の親子を対象にしたクッキングも全く出来ていない。
- ・コロナ感染症対策として、黙食、パーティション設置、消毒などを今も続けて実施している。今後どのように感染対策をしながら食事の在り方のかんがえていくべきかが課題。
- ・なかなか子供達と直接的に話したり、クッキングなどがしにくいので予定していてもできずの事が多くなっているため、その時は展示の方法など子供と親が両方楽しめるやり方などを考え、実行するように今後していきたいと思います。
- ・コロナ禍において実施される範囲を縮小せざるを得なくなり、園全体での食に関する行事の取り組みが難しくなっているが、皆で行事をし皆で食べる楽しさを伝えていきたい。
- ・コロナ前は幼児クラスで野菜を育て、クッキングをしていたが、いつごろから再開しているのか？悩んでいる
- ・コロナ禍で感染対策のため職員と子どもと一緒に食べれていない
- ・こねたり、丸めたりする調理、みんなのできる調理がまだまだ取り組みにくい

●その他

- ・朝食の大切さをお便りなどを通して伝えているが、多忙な中でだからか、なかなか保護者には響きにくい。
- ・偏食や残飯が多い。
- ・残飯の量の多さ、朝食の摂取状況等。
- ・行事をする中でのアレルギー対応もむづかしい。
- ・もっとクッキングをしたいが子供の数が多くできない。道具も足りない。時間も足りない。（日課が崩れると言われる）
- ・自園給食であるため他施設（園）での取り組みがわかりづらい。もし可能であれば意見交換等できる機会があれば良いと思う。
- ・食材の値上がりにより、産地直送のものなど提供したいが冷凍等になってしまう。

【幼稚園】

- ・昨今の食材の値上がりや光熱費の値上がり等が、子ども達の食育に深い影響を与えるのではないかと心配している。
- ・様々な家庭がある中で、また、偏食の特性をもつ配慮を要する幼児もいるため、一律での食育指導は難しい面があります。来年度からは選択制の給食も実施となるため、給食の幼児・弁当の幼児がクラスの中でも混在するため、食育の取組や食事指導をどうしていくかより考える必要があると思う。
- ・日々の昼食が、お弁当と給食が混在しており、食について話をしにくくなった。
- ・好き嫌いをなくすための方法

【認定こども園】

●新型コロナウイルス感染症関連

- ・計画をしてもコロナの感染状況によって変更を余儀なくされる、もしくは計画自体をあきらめざるを得ないこと。衛生・安全に対してどこまでの配慮が必要かの判断。
- ・コロナ禍において、夕食の際の家庭的に楽しんで、その日の活動などの話をしながら食べることができなくなり、別の方法を模索しながら中々先に進まないこと。

●その他

- ・屋上園庭に畑を作っているが、そこに雨水をためる設備を整えたり、野菜くず等のゴミを再生したりする取り組みを検討している。

【小規模保育施設】

●新型コロナウイルス感染症関連

- ・新型コロナウイルスの影響により、調理体験など生の食材に触れる機会を作ることが難しくなった。
- ・コロナ禍ということもあり、1・2歳児の子どもたちはマスクを着用することができないため、豆の皮むきなどをしていたクッキングやおやつ・牛乳・果物を買いにいくお当番活動が出来ません。どの程度の範囲なら出来るのか難しい。
- ・クッキングはコロナ感染状況から計画通りの回数ができていないことや、子ども達と一緒に食事をしながらの食育活動ができていない。
- ・季節柄（特に新型コロナウイルス）の影響で衛生面など気を使っているが、もっといい解決案などを話し合っている。
- ・コロナ前は、保護者の給食試食を随時受け付けていたが、いつごろから再開していいのか？悩んでいます。
- ・乳児のため、マスク着用や乳児用ビニール手袋など難しく、工夫が大変であった。今後どのように活動していくか課題である

●その他

- ・小規模のため、畑を持ってない。プランター育成での限界を感じる。
- ・野菜の栽培やお芋堀をさせてもらえるような畑が近くにあればお借りしたいと考えているが、どこにそのような資源があるのか分からないし、どこに相談したらいいのかが分からない。
- ・1、2歳児のみの施設なので、幼児クラスになっての継続ができない。

- ・乳児のみの園なので、日常の給食の取り組みも大事に行う
- ・毎回園全体で子どもにとってどんな経験が必要でどう取り組むか？を考えている
- ・施設が狭い為に栽培場所の確保が難しい
- ・連携園の為に自園で調理していない為毎日出汁の匂いなど感じる事が難しい。